

一般質問

齊藤 義明 議員
市民の声



市民ホールの早期改修を

Q 市民ホールは耐震基準を満たしているものの、客席上部の吊り天井は老朽化による落下の危険性が危惧されており、その他建物本体・付属機器等についても機能不十分等が指摘されている。応急的な措置を講じるとともに、早期の改修を求める。

A 市民ホールの改修については、施設全体が地上より低い位置にあるため底上げする必要がありませんが、その場合、客席が狭まり、キャパシティが現在の半分程度になってしまうという問題があります。

今後、人工土地全体の課題と併せ、当該施設をどうしていくか検討していきます。
(市長)

配置基準の見直しによる
保育士の負担軽減を

Q 配置基準に従って保育士の必要人数を計算する際、小数点以下についてはどのような取扱いをしているのか。

A 各年齢区分の入所児童数を保育士の配置基準となる児童数で除したものを合計し、さらに各種加配等を加えた後、最終的に小数点以下は四捨五入することになります。
(健康福祉部長)

Q 小数点以下が4か5かで保育士の人数が変わるのはいかがなものか。全て切り上げにし、保育士の負担軽減を図るべきである。

A 国において定められている基準によって計算した後、各種加配等を加え、十分に基準を満たすよう保育士を配置していますので、ご理解いただければと思います。
(健康福祉部長)

質問の
主な項目

- ・ 公共施設等総合管理計画について
- ・ 他市等と連携した観光施策について
- ・ 認定こども園について

出田 泰三 議員
市民の声



にぎわい創出事業の
さらなる充実を

Q 市民自身が企画・運営を担いまちづくりに参画するにぎわい創出事業は、市民共働の具現化と考える。応募団体も増加する中で事業のさらなる充実を図る考えは。

A にぎわい創出事業補助金の額については、審査会において各イベントを実施するに当たり妥当と思われる金額を設定しています。

当該事業は、新規または既存事業を拡大、発展する場合に補助するものですが、毎年開催すべきものについては別途補助事業として継続的に実施できるよう対応していきます。

いずれにしても、当該補助金の総額や、各団体への適切な補助額について、申請状況も勘案しながら検討していきます。
(建設経済部長)

質問の
主な項目

- ・ 若者や女性が活躍できるまちづくりを
- ・ 新年度予算について
- ・ 健康づくりについて

鎌田池周辺の桜の保存を

Q 鎌田池周辺は本市有数の桜の名所であるが、老木が多く傷んでいるものも見られ、地域からは保存を望む声が挙がっている。一方で、ため池の保護の観点から、堤防への植栽は適切ではないとも言われているが、本市の考えは。

A 県条例で、堤防への植栽は禁止されていることから、新たに植えることは困難です。一方で、既存の桜を撤去した場合、堤防内の根が腐り、空洞に水が流れ込むことのでかえて堤防の強度を下げてしまう恐れがあるので、引き続き堤防の状態に注意しながら現状を維持していきたいと考えています。
(建設経済部長)

